

令和7年第4回加須市教育委員会定例会会議録		
招集の日時	令和7年4月21日 午後1時30分	
招集の場所	教育委員会室	
開会の日時	令和7年4月21日 午後1時30分	
閉会の日時	令和7年4月21日 午後3時35分	
出席者の氏名	小野田誠教育長、遠藤康江教育長職務代理者、猪股富美子委員、秋山哲也委員、松永修委員、片山上総委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	齊藤千恵美生涯学習部長、中島高広学校教育部長、田村禎子こども局長兼学校教育部署理事、矢部良貴教育総務課長、鈴木大輔魅力ある学校づくり推進室長、蓮見晴美生涯学習部参事兼生涯学習課長兼加須文化・学習センター館長兼北川辺郷土資料館長、松井美紀図書館課長兼加須図書館長、高橋一也学校教育課長兼指導主事、田中浩学校教育部参事兼学校給食課長兼加須学校給食センター所長、野本弘美こども保育課長兼学校教育部主席専門員、植木孝幸子育て支援課長、小林英憲すくすく子育て相談室長、秋山天学校教育課主幹兼指導主事、渡邊圭佑魅力ある学校づくり推進室主査、杉田勝魅力ある学校づくり推進専門員兼学校教育課教育専門員、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1 第 2 第 3 第 4 第 5 第 6	会議時間の決定 会議録署名委員の指名 前回会議録等の承認 協議事項 令和7年度加須市教育委員教育関連施設等訪問について 協議事項 加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針」の構成案及び児童生徒へのアンケート調査の実施について その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	ただいまから、令和7年第4回加須市教育委員会定例会を開会します。 本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。 会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。 本日は、傍聴希望者はございません。	
小野田教育長	【日程第1 会議時間の決定】 日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることによろしいでしょうか。	

	(異議なしとの声あり)
	それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。
小野田教育長	【日程第2 会議録署名委員の指名】 日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は片山委員にお願いいたします。
片山委員	はい。
小野田教育長	【日程第3 前回会議録等の承認】 令和7年第3回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。 会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。
小野田教育長	ご質疑、ご意見等ないようですので、第3回定例会の会議録については承認ということでよろしいでしょうか。
	(異議なしとの声あり)
	それでは、承認とします。
小野田教育長	【日程第4 協議事項「令和7年度加須市教育委員教育関連施設等訪問について」】 日程第4 協議事項「令和7年度加須市教育委員教育関連施設等訪問について」を協議します。事務局より説明させます。
矢部教育総務課長	教育委員が市内の教育関連施設等の管理運営の実態や懸案事項等を把握することにより、加須市教育行政の推進に資するため、令和7年度に訪問する市内教育関連施設等の実施について検討しています。 つきましては、教育委員の皆様から、訪問施設についてのご意見やご希望をいただきたく協議をお願いするものです。 ・令和7年度加須市教育委員教育関連施設等訪問について説明
小野田教育長	これより協議を行います。 ご質疑、ご意見等ございますか。
遠藤教育長職務代理者	北川辺中学校に併設された北川辺コミュニティセンターのその後の話として、学校と併設して不便なことやよかったことなどをお伺いしたいと思います。 また、要望として、学校以外の施設で県立加須げんきプラザについても考慮いただければと思います。 あと、コミュニティセンターのうち不動岡や三俣はもともと公民館でしたが、川口や花崎は最初からコミュニティセンターですので成り立ちが違う施設を見たいと思います。
片山委員	スイミングスクールでの授業の様子や、学校から出発するところ、学校に帰ってくるところなどを見たいと思います。

	それと、特別支援学校に行ってお勉強させていただきたいと思います。 あと、施設ではありませんが、部活動の様子も見たいと思います。 いずれにしても話題になっているところを選定していただけるとありがたいです。
猪股委員	大勢で行くのではなく、それぞれの地元の学校に自主研修の形で、コミュニティスクールの会議を見に行く機会を要望します。 それから、青少年未来サミットや夏休みのイングリッシュサマーキャンプ、中学生の防災研修のような子どもたちが集まって、主体的に取り組んでいるイベントに参加させていただきたいと思います。 あと、市の研究授業ばかりでなく、県の研究委嘱による研究授業等の案内をいただければと思います。
秋山委員	幼稚園が専任園長に変わっているので、その状況の話を聞きたいと思います。 あと、話題の未来館や、以前騎西給食センターで過酷な勤務状態を見たので、どのように改善されたのかが気になっています。 あともう1点は、災害時に学校ではどのように自分の身を守るのか、避難訓練の様子を見たいと思っています。
小野田教育長	他にございませんか。 それでは、協議を終わりにいたします。 いただいた意見を踏まえ、事務局は具体的な計画の作成をしてください。
小野田教育長	【日程第5 協議事項「『加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針』の構成案及び児童生徒へのアンケート調査の実施について」】 日程第5 協議事項「『加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針』の構成案及び児童生徒へのアンケート調査の実施について」を協議します。 事務局より説明させます。
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	資料としては、2種類ございまして、現在策定作業を進めている「加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針」の構成案及び基本方針の検討に当たり基礎資料として活用するため、実施を予定している市立小中学校全児童生徒へのアンケート調査の概要です。どちらも、現時点における事務局案の資料となります。今後これを基に協議をしてまいりますので、ご意見、ご感想をいただきたいと思いますと考えております。 ・「加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針」の構成案について説明 ・児童生徒へのアンケート調査の実施について説明
小野田教育長	これより協議を行います。 ご質疑、ご意見等ございますか。
松永委員	全体の構成は非常によく整理されており、分かりやすい内容になっていると思います。ただ、これは本市だけでなく、他の自治体にも共通するような内容だと感じました。 特に本市として重視したいのは、基本方針の1（4）にあたる部分であり、本市

がどのような子どもを育てたいのかを明確に示し、その理想像を実現するために、新たな教育環境をどのように創造していくのかという一貫したストーリーが必要です。

したがって、「目指す子ども像」や「求められる学校像」といった項目を明確に立て、本市の教育の方向性が、資料から見て取れるようにしないと、「再編のための再編」になってしまいかねません。

この点を踏まえると、内容にもう少し厚みを持たせたり、項目を再整理したりする必要があるのではないかと感じました。

また、5の「本市における小中学校の適正規模・適正配置等の考え方」についても、「適正」の定義がとても難しく、重要になってきます。本市では、これまでの教育活動の工夫や積み重ねにより、小規模でも質の高い教育を実現してきた実績があります。

したがって、「本市における適正」とは、どうあるべきなのか、教育の理念と地域の実情を踏まえて示すべきです。

また、5(3)の「学校形態を踏まえた適正化の考え方」において、小中一貫教育に触れられていますが、再編にどう影響するかが、少し分かりにくいと感じました。

最後に、タイトルについての提案となりますが、サブタイトルのような形でキーワードを添えるのも一案かと思います。そうすることで、再編が目的ではなく、子どもたちのための改革であるというメッセージがより明確に伝わると思います。

猪股委員

アンケートの構成についてですが、自由記述の形式だと集計が非常に大変なので、選択肢形式にする予定でしょうか。アンケートの取り方次第で、基本方針全体の立て方も変わってくると思います。

基本方針策定のための基本的な考え方には「保護者や地域住民と十分な合意形成を図ります」とあります。児童生徒だけへのアンケートだと、情報として不十分なのではと感じていますので、学校運営協議会の委員の方々の意見を聞く機会も必要ではないかと思います。特に、保護者の意見は非常に重要です。アンケートの結果だけで方向性を決めるのではなく、複数の立場の意見やデータを重ねて、多角的に考えていく必要があると感じています。

次に、構成案の4は「国が考える適正規模・適正配置の基本的な考え方」、5は「本市の考え方」となります。最近、国の方針も揺らいできていますので、「国の考え方」と「本市の考え方」を別立てにしてしまうと、文脈がつながらなくなってしまう可能性があります。そのため、5の(1)として「国の考え方」を入れ、その後に(2)で「本市の考え方」を記載する形の方が、自然で理解しやすいと思います。

また、構成案とは直接関係しませんが、適正規模・適正配置の他市の事例で、コンサルタントを入れて進めたところ、地域の実情を理解しないコンサルタントが説明会の仕切りなどを担ったことで問題となった例もありますので、コンサルタントの導入については、タイミングや範囲、内容について、慎重に検討していただけだと思います。

鈴木魅力ある学校づくり推進室長

アンケートの設問については、現在、内容については検討中です。ただし、選択肢形式だけ、自由記述だけという極端な構成にはせず、両者をバランスよく取り入れた設問内容にしたいと考えています。

	まず、こどもたちへのアンケート調査を行い、その結果をもとに基本方針の案をまとめていきます。そして、その案ができ次第、保護者や地域の方々に対して意見募集を行い、さらに広く意見を反映していく予定です。 「国の基本的な考え方」の位置付けについては、ご意見を踏まえた上で、構成を再検討していきたいと考えています。
遠藤教育長職務代理者	地元の方に聞くと、あそこあそこの小学校は人数が少ないからくっつけばいいと、将来的なことを考えないで、いろいろなことを言う方が多いです。 2の小中学校の現状を細かく出していただき、地域の方もきちんと把握していただき、理解を示していただければよいと思いました。 あと、現状を踏まえて、5の適正規模・適正配置の考え方に行くと思いますが、この考え方の中に、地域がこどもたちをどのように育てたいとか、こういうふうに育ってもらいたいという思いも入れていただくと、地域の気持ちが入った基本方針になるのではないかと思います。
秋山委員	コンサルタント会社との連携については、正直なところ少し不安を感じています。今回の取組には、地域ごとの歴史や文化といった、数値では測れない要素が深く関わってきます。そうした背景を、コンサルタントの方々がどれほど理解し、地域の文化や価値観を尊重しながら協議や提案を進めていけるか、そこに懸念を抱いています。
片山委員	構成案4の国の考え方は、本体の構成からは外して、「参考資料」として付けたほうが、わかりやすいのではないかと感じています。 また、3のアンケート調査についてですが、児童・生徒へのアンケートは、1の中に組み込んでしまった方が自然かもしれません。 あと、コンサルタントをうまく活用することは可能だと考えていますので、事務局やプロジェクトチームがしっかりと体制を整え、信頼関係を築き、機能させてほしいと思います。
松永委員	基本方針の1（4）についての部分は、小見出しも検討した上で、1つの項目としても良いのではないかと思います。 アンケートや本市の目指すこども像や学校像を項目として外に出し、その部分を目立つようにすると伝えたい内容がより際立つのではないかと思います。伝えたい部分を見やすくし、目立つような構成になっている方が、見る人にとっても理解しやすいのではないかと感じています。
小野田教育長	他にございませんか。 それでは、協議を終わりにいたします。 いただいた意見を踏まえ、事務局は修正をしてください。
小野田教育長	【日程第5 「その他」】 日程第5 「その他」でございます。 諸般の報告をさせます。 斉藤生涯学習部長より順次報告をいたします。
斉藤生涯学習部長	・ 東部地区及び埼玉県、関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会について

中島学校教育部長	・令和7年度新規・拡充事業について ・学校運営協議会委員委嘱・任命式及び全体研修会について ・初任者、2年目の教員へのフォロー及び自己評価シートに基づく教育長訪問について ・加須市宇宙米プロジェクトについて
田村こども局長兼学校教育部理事	・市立幼稚園入園式について ・8園中4園の専任園長化について ・ヤングケアラー支援事業の開始について
小野田教育長	それでは、委員さんの方で、説明がほしい資料はございますか。
松永委員	「入学式・始業式の欠席・出席停止者数」について、どこに課題があるのか説明いただけますか。 また、実用英語技能検定の検定料の助成については、助成をすれば英検取得者が増えるということではなく、受けることの目的を中学生に意識させることが大切だと思います。最終的には英語の力をつけていくことが目的になると思いますので、意識させ意欲を高めるための働きかけについてお伺いしたいと思います。
高橋学校教育課長兼指導主事	入学式・始業式の欠席・出席停止者数を調査した意図としては、児童相談所保護や入所または家事都合など、昨年度から問題や課題を抱えている児童生徒が、新年度になってどのように出席状況等が変わってきたかを把握するためです。 小学校1年生は、初めて学校に来る日の欠席状況を把握することも必要でした。 中学校1年生は、小学校で長期欠席だった児童が、中学1年生になってどのようになっているかを把握して、対応が必要なもの、新たに課題として発見されるものの状況把握のために、実施いたしました。 次に、実用英語技能検定の検定料の助成の働きかけは、していかなければならないことと考えております。今後、校長会で話をし、作成したパンフレットをホームページで公開することを検討しております。 また、学校でも周知してもらえるように、再度、働きかけたいと思います。
中島学校教育部長	入学式・始業式の欠席・出席停止者数の補足となります。 この表の見方は、上段の網かけが入学式に1年生で欠席した人数で、下段が在校生となります。 中学校の中1ギャップを考えたときに、欠席している子は少なくなっています。1度リセットされて、入学式に参加できています。そのため、入学式に参加できた生徒をどのように支えていくかが課題となります。
遠藤教育長職務代理者	集会所事業「小・中学生学級」で、学習内容の中の学習意欲向上とはどのようなことでしょうか。 また、「令和7年度加須市立幼稚園園児数・学級数について」で、※印のところが21人や26人で2人担任制とあります。大桑幼稚園は20人で1人の担任となっていますので、その辺の説明をお願いします。
蓮見生涯学習部参事	学習意欲向上に係る日数の比重を高くお願いしますというのは、人権の集会所

兼生涯学習課長兼加須文化・学習センター館長兼北川辺郷土資料館長	学習ではありますが、学校の先生に指導をお願いしておりますので、参加者数が増えることもあり、中間テスト対策や学力向上をお願いしているものでございます。
野本こども保育課長兼学校教育部主席専門員	幼稚園の3歳児の学級編制基準は20人のため、大桑幼稚園の担任1人となります。ただ、保育に影響がないような体制は、きちんととっていきたいと思います。
猪股委員	今年度、新事業としてヤングケアラー支援事業を開始するとのことですが、具体的にヤングケアラーを特定して、それぞれのサポートを始めるのでしょうか。少し具体的に説明いただければと思います。
小林すすく子育て相談室長	ヘルパーがヤングケアラーの自宅に訪問して、家庭が抱える不安に傾聴するとともに、家事支援等を利用者の費用負担はなしで行う事業でございます。 使用頻度は、1週間に2時間以内、実施期間は3ヶ月を原則とし、必要な場合は延長可能としております。今年度は対象者を5件と想定しています。 ヘルパーの派遣をきっかけに、社会福祉の職員がその家庭に介在し、ヤングケアラーの負担が軽減できるように入っていければと考えております。 今年度からの事業となりますので、学校とも連携しながら対象者を特定していきたいと考えております。
猪股委員	こども自身が大変なので、何とか行政につなげる仕組みを検討していただければと思います。
片山委員	「入学式・始業式の欠席・出席停止者数」についてで、家事都合が多くいますが、ヤングケアラーに関わるような都合はありますでしょうか。 それと、幼稚園の時間延長の件について先日、祖父母にあたる地域の方から問い合わせを受けました。説明したところ、幼稚園も保育園も変わらないという感覚でした。例えば、家を加須市につくるか考えている方が、幼稚園の預かりの時間が延長したと知れば、その判断基準の1つになると思います。周知をするのに、親御さんたちだけでなく、それ以外の市民の方にも幅広く周知をしていただいた方が効果的だと思いますので、周知方法についてご検討をお願いします。
高橋学校教育課長兼指導主事	現在、ヤングケアラーで家事都合という理由は聞いておりません。家事都合の多くは、不登校傾向であると考えております。
秋山委員	「令和7年度児童生徒数及び学級数」で、大越小学校の1年生が4名ですが、この4名の男女比はどうなっているのでしょうか。
高橋学校教育課長兼指導主事 小野田教育長	男子が2名、女子が2名でございます。 それでは、報告を終わります。
小野田教育長	以上で、令和7年第4回定例会の議事日程は、終了といたします。 令和7年度第5回定例会は、5月27日（火）に開会しますので、よろしくお願い

いします。

これをもちまして、令和7年第4回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和7年5月27日

教 育 長 小野田 誠

委 員 片山 上総

書 記 岡田 正道